



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東 大 名 福

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小島 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー

(氏名) 宮崎 毅

TEL 03-6895-6260

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	98,363	△2.1	282	△63.0	582	—	△549	—
24年3月期第3四半期	100,486	7.7	763	△87.0	△947	—	△1,342	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △622百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △3,282百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.38	—
24年3月期第3四半期	△5.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第3四半期	187,736		64,412		33.3
24年3月期	190,659		65,581		33.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 62,481百万円 24年3月期 63,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	△3.7	△400	—	△200	—	△3,800	—	△16.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成25年1月31日)公表いたしました「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	230,764,400 株	24年3月期	230,764,400 株
25年3月期3Q	86,682 株	24年3月期	86,257 株
25年3月期3Q	230,677,943 株	24年3月期3Q	230,679,309 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。また、本日付で「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間)の外航海運市況は、ドライバルクにつきましては、新造船大量竣工に伴う船腹の供給圧力がピークに達するなか、中国の景気減速を背景とした鉄鉱石需要の不透明感等の荷動き停滞要因が重なり、大型船市況は9月まで日建て1万ドルを下回る水準で推移しました。その後、ケーブ型撒積船市況は、鉄鉱石価格の下落を受け中国の原料購入先が国外へシフトしたことや季節的要因による需要増加により10月以降は1万ドル台後半まで回復したものの、12月には再び急落しました。タンカーにつきましては、今年前半は欧米のイラン原油禁輸措置に伴う航路の遠距離化などを受け底堅い水準で推移しましたが、依然として強い新造船の供給圧力・中国の原油備蓄積み増し等を受け、その後の市況は途中で需要期の持ち直しを挟みつつも下落基調が続きました。このような状況の下、外航海運事業の業績は前年同期比で減益となりました。

内航海運事業において、ドライ貨物輸送につきましては、鋼材輸送量は、景気回復の遅れを受け前年同期比で減少した一方、セメント関連貨物の輸送量は震災復興需要などの影響により堅調に推移しました。タンカーにつきましては、LNG輸送量は企業の節電の影響を受けたものの支配船腹増強により前年同期比で増加しました。このような状況の下、内航海運事業の業績は前年同期比で増益となりました。

燃料油価格は、期初に史上高値圏のトン当たり700ドルを超えていましたがその後は軟化局面へと移行し、当社の第3四半期連結累計期間の平均購入価格はトン当たり約693ドル(内外地平均C重油)となり、前年同期比では約26ドル上昇しました。また対米ドル円相場は期中平均で80円11銭と、前年同期比では89銭の円安ではあるものの、依然として円高基調で推移しました。

このような事業環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は983億63百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は2億82百万円(前年同期比63.0%減)、経常利益は為替差益7億65百万円を営業外収益に計上したこともあり、5億82百万円(前年同期は9億47百万円の経常損失)となりましたが、四半期純損失は船舶に係る固定資産売却益11億59百万円等を特別利益として計上する一方、用船解約金22億52百万円等を特別損失に計上したため、5億49百万円(前年同期は13億42百万円の四半期純損失)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、29億23百万円減少の1,877億36百万円となりました。このうち流動資産は受取手形及び営業未収金の減少等により、9億74百万円減少しました。固定資産は建設仮勘定が49億55百万円増加しましたが、船舶の減価償却等により全体では19億49百万円の減少となりました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、17億54百万円減少の1,233億24百万円となりました。このうち流動負債は主として短期借入金の減少により、61億29百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加等により、43億75百万円増加しました。

純資産合計は、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億69百万円減少し、644億12百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期				
	期首予想	前回予想	今回予想	前回予想比	
				増減額	増減率
売上高	143,000	136,000	130,000	△6,000	△4.4%
営業利益	1,200	1,100	△400	△1,500	-
経常利益	500	△200	△200	0	0.0%
当期純利益	1,300	0	△3,800	△3,800	-

※期初予想(平成24年4月27日)、前回予想(平成24年10月31日)及び今回予想における第4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格(内地C重油)の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	期初予想	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=80円	US\$=80円	US\$=90円
燃料油価格(内地C重油)	US\$720/MT	US\$690/MT	US\$690/MT

第4四半期につきましては、日本、米国及びユーロ圏での様々な政策措置による効果が顕在化しつつあることから、世界経済は深刻な危機を回避し緩慢ながらも回復が見込まれます。一方で、特にユーロ圏の債務危機長期化が新興国経済へ与える影響や、国際的な政情不安の高まりが強く懸念されます。外航海運については、各船型で新造船竣工量が2013年から減少する見通しであることや、為替相場の円安進行が追い風となるものの、船腹余剰感は依然として強く、船主・オペレーターにとって厳しい状況が続くものと見込まれます。

このような事業環境下、第3四半期連結累計期間の業績に加え、将来的な損益改善に向けた追加対策の実施費用発生を第4四半期連結会計期間にも見込み、2012年10月31日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしておりました平成25年3月期通期連結業績予想を前述の通り修正するとともに、「未定」としておりました期末配当予想額につきましても誠に遺憾ながら「無配」といたします。なお第4四半期の前提条件は、対米ドル円換算率を1ドル=90円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり690ドルとしております。

本日、「業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧下さい。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,329	19,330
受取手形及び営業未収金	15,753	13,286
たな卸資産	6,968	6,321
前払費用	2,321	2,655
繰延税金資産	3,261	3,094
その他流動資産	4,371	4,259
貸倒引当金	△114	△29
流動資産合計	49,889	48,915
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	107,171	100,126
建物（純額）	639	611
土地	855	827
建設仮勘定	23,545	28,500
その他有形固定資産（純額）	466	377
有形固定資産合計	132,676	130,441
無形固定資産	244	287
投資その他の資産		
投資有価証券	4,424	4,167
繰延税金資産	2,152	2,783
その他長期資産	1,274	1,144
貸倒引当金	—	△1
投資その他の資産合計	7,850	8,093
固定資産合計	140,770	138,821
資産合計	190,659	187,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,546	6,796
短期借入金	15,610	13,212
未払金	2,820	2,342
未払費用	301	310
未払法人税等	648	39
繰延税金負債	172	314
前受金	1,370	1,055
賞与引当金	370	84
役員賞与引当金	36	17
デリバティブ債務	8,617	8,093
その他流動負債	2,275	1,373
流動負債合計	39,765	33,636
固定負債		
長期借入金	80,250	84,913
退職給付引当金	1,216	1,126
特別修繕引当金	2,083	2,138
繰延税金負債	1,621	1,428
その他固定負債	143	83
固定負債合計	85,313	89,688
負債合計	125,078	123,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,430	13,429
利益剰余金	44,448	43,898
自己株式	△26	△26
株主資本合計	68,152	67,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△625	△773
繰延ヘッジ損益	△3,210	△3,008
為替換算調整勘定	△1,020	△1,340
その他の包括利益累計額合計	△4,855	△5,120
少数株主持分	2,284	1,931
純資産合計	65,581	64,412
負債純資産合計	190,659	187,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	100,486	98,363
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	94,796	93,564
売上総利益	5,690	4,799
一般管理費	4,927	4,516
営業利益	763	282
営業外収益		
受取利息	210	121
受取配当金	92	54
持分法による投資利益	44	34
為替差益	—	765
受取補償金	—	336
その他営業外収益	106	107
営業外収益合計	452	1,417
営業外費用		
支払利息	847	992
為替差損	1,243	—
その他営業外費用	72	125
営業外費用合計	2,162	1,117
経常利益又は経常損失(△)	△947	582
特別利益		
固定資産売却益	88	1,159
負ののれん発生益	—	54
賃貸借契約解約精算金	116	—
特別利益合計	204	1,213
特別損失		
固定資産売却損	—	106
投資有価証券評価損	1,357	—
子会社株式売却損	—	115
用船解約金	—	2,252
特別損失合計	1,357	2,474
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,100	△678
法人税等	△918	△327
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,182	△351
少数株主利益	160	198
四半期純損失(△)	△1,342	△549

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,182	△351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199	△153
繰延ヘッジ損益	△2,295	201
為替換算調整勘定	36	△327
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	8
その他の包括利益合計	△2,100	△271
四半期包括利益	△3,282	△622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,416	△816
少数株主に係る四半期包括利益	134	193

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	83,846	16,018	99,864	622	100,486	—	100,486
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	4	4	345	349	△349	—
計	83,846	16,022	99,868	967	100,835	△349	100,486
セグメント利益 又は損失(△)	△95	806	711	39	750	13	763

- (注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額13百万円は、セグメント間取引消去額であります。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	81,213	16,534	97,747	616	98,363	—	98,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2	2	376	378	△378	—
計	81,213	16,536	97,749	992	98,741	△378	98,363
セグメント利益 又は損失(△)	△634	891	257	13	270	12	282

- (注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。